



訪問プログラム 2019
開催団体募集要項

認定NPO法人

ミュージック・シェアリング

〒102-0092東京都千代田区隼町2-12 藤和半蔵門コープ708

TEL : 03-3261-1855 / FAX : 03-3261-1856

E-mail : info@musicsharing.jp

作成日 : 2018年10月29日 / 担当者 : 中村、牧野

もくじ

ミュージック・シェアリングのご紹介

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. ミュージック・シェアリングより | P 2 |
| 2. 理事長プロフィール | P 3 |
| 3. 訪問プログラムとは | P 3 |

訪問プログラム

- | | |
|-----------|-----|
| 1. 実施概要 | P 4 |
| 2. 準備について | P 7 |
| 3. その他 | P 8 |

訪問プログラム2019応募申請方法

- | | |
|---------------------|-----|
| 1. 応募の手続 | P 9 |
| 2. 応募締切 | P 9 |
| 3. 訪問先決定について | P 9 |
| 4. 訪問決定後に提出していただく資料 | P 9 |
| 申込書記入例 | P10 |

ミュージック・シェアリングのご紹介

1. ミュージック・シェアリングより

「訪問プログラム 2019」にご関心をお寄せくださり、ありがとうございます。当法人は本物の音楽を通して、子どもたちの豊かな心と創造力育成の一助になることを目的として活動を続けてきました。一方で、次代をになう若い芸術家たちに真の社会貢献活動を知るきっかけを作っています。また、2018年度からは少子高齢化が進む社会のニーズに応じて、子どもたちだけでなく高齢者や様々な事情で音楽に触れ合う機会の少ない人々の元へと視野を広め、生の音楽を届けています。2019年度も日本全国から開催団体の募集を行うことになりました。皆様のご応募、心よりお待ちしております。

<ミュージック・シェアリング理念>

ミュージック・シェアリングは、人々にとって本物の音楽がより身近なものになり、豊かな人間性を育む環境作りの手助けを行います。たくさん子どもたちや高齢者の方々が教養を高め続けられるようにするため、その活動を常に見直し、時代を先導する活動を創造し続けていきます。

※当法人の活動は、個人・法人・団体の皆様から寄せられるご寄付、協賛金、助成金で運営しています。



2. 理事長プロフィール

五嶋みどり Midori (ヴァイオリン)



Photo: Timothy Geenfield-Sanders

ヴァイオリニスト五嶋みどりは、従来の音楽家という枠を超えた独創的なビジョンをもったアーティストである。

1982年にニューヨーク・フィルハーモニックとの共演でデビューして以来、米国、ヨーロッパ、アジアで幅広くコンサート活動を行い、世界の文化交流を図り、また音楽教育者としても世界的に知られている。これまでベルリン・フィルやウィーン・フィルをはじめとする著名なオーケストラやバーンスタイン、アバド、ロストロポーヴィチなど音楽史上に残る指揮者とも共演。第56回グラミー賞(2013年)を受賞した「ヒンデミット作曲ヴァイオリン協奏曲(クリストフ・エッシェンバッハ指揮 NDR 北ドイツ放送交響楽団共演)」など数多くのCDがリリースされている。中でもJ.S. バッハによる「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ全曲集」の演奏は他に類を見ないと評される。

五嶋みどりは多忙な演奏活動と両輪に、文化・芸術の振興、交流を目的とした様々な非営利団体を創設。25年以上にわたり子どもたちや社会的弱者に本物の音楽を届ける活動を先導し、情熱を注ぐ。特にアジアでは、選ばれた優秀な若手音楽家と共にICEP(インターナショナル・コミュニティ・エンゲージメント・プログラム)を実施。文化交流のみならず、社会活動の啓蒙に暇がない。1971年大阪生まれ。2018年よりカーティス音楽院にて教鞭をとる。2007年より国連ピース・メッセンジャー。イェール大学名誉博士号受称。2012年にダボス世界経済フォーラムにて、世界の相互理解や平和に貢献した文化人に贈られる「クリスタル賞」など、賞歴多数。米国フィラデルフィア在住。

3. 訪問プログラムとは

ミュージック・シェアリングの協力アーティストが全国の学校や病院、児童福祉施設、高齢者福祉施設などを訪問し、様々な事情でコンサートに足を運ぶ機会の少ない人々に音楽を届けます。参加者が普段生活している場所でのコンサートや教室・病室訪問など、団体のニーズに合わせた内容を検討してともにプログラムを作り、演奏を鑑賞したり、演奏家と交流したりすることで、音楽をより身近に感じてもらい、想像力や知的好奇心を育むことを目指します。訪問プログラムの開催団体は、毎年秋に公募しています。

<http://www.musicsharing.jp/activity/concert/index.html>



演奏家のエスコート係を務める児童



楽器体験の様子

訪問プログラム

1. 実施概要

それぞれの会場へ1年に2回の訪問を実施し、6月は弦楽四重奏（カルテット）、9月～11月は他楽器の協力アーティストが同一団体を訪れます。プログラムでは楽器や楽曲についてのお話や演奏者への質問コーナーがある「訪問コンサート」を中心に、その他「クラス訪問」や「病室訪問」が実施される場合もあります。

(1) 開催時期

原則として、実施年度で**2回訪問**します。（やむを得ない事情により変更することもあります）

回数	実施時期（予定）	演奏楽器
1回目	2019年6月 (6月6日～6月19日)	弦楽器（五嶋みどりと若手演奏家によるカルテット）
2回目	2019年9～11月頃	箏、雅楽、オーボエ、ギター、バンドネオン

(2) 訪問する演奏家

訪問する演奏家はミュージック・シェアリングの協力アーティストです。1回目は五嶋みどりと若手演奏家によるカルテット、2回目は下記の協力アーティストの中から1組が訪問します。9～11月に訪問する演奏家は、スケジュールの調整や会場についてご相談の上決定となります。協力アーティストの詳しいご紹介はホームページをご覧ください。<http://www.musicsharing.jp/artist/index.html>



【箏】 沢井 一恵/さわい箏アンサンブル



【雅楽】 石川 高(笙)、中村 仁美(篳篥)、八木 千暁(龍笛)



【オーボエ】 荒 絵理子



【ギター】 村治 奏一



【バンドネオン】 三浦 一馬

(3) 訪問の対象となる団体

小学校（基本的に国公立校であること）、特別支援学校、病院、放課後児童クラブ、
矯正施設、児童福祉施設（母子生活支援施設、児童養護施設、障がい児入所施設等）、
高齢者施設、障がい者施設、看護学校 他、上記団体に準ずる団体

※1 自治体・教育委員会・社会福祉協議会からのご応募も受けませんが、個人及びPTA、保護者会、後援会などからの申請は受けません。

※2 原則として、前年度実施した団体への再訪問はいたしません。

※3 小学校での訪問コンサートは高学年（4～6年生）が対象です。

人数によっては、近隣の団体との合同開催も応相談。低学年については、オプションとして演奏家のクラス訪問が可能。クラス訪問を希望する場合、申込担当者とミュージック・シェアリング担当者間で相談の上、全体のスケジュールと調整しながら決めていきます。

(4) 参加者の総数

1回の訪問コンサートに参加する人数は **2～100名以内**。状況に応じて時間割ごとに学年やグループを分ける、もしくは、午前・午後に分けるなどご相談する場合があります。

(5) 実施内容

団体の状況に合わせて内容を決定します。下記の実施例は、これまでのコンサートの一例です。また、参加者や関係者からの参加費等の徴収は禁止しています。

※これまでの活動の様子は、以下「活動ブログ」のサイトをご覧ください。

6月の様子：ICEP ブログ <https://musicsharingweb.wordpress.com/>

9～11月の様子：活動報告ブログ <http://musicsharing.cocolog-nifty.com/blog/>

実施例1：小学校における訪問プログラム

【時間】 約45分～60分

【対象】 **4～6年生対象**。演奏鑑賞の他、楽器体験なども行うため、1回のコンサートに参加する児童・生徒数は **100名以内**としています。

※対象外の学年（1～3年生など）は、クラス訪問（各5～20分）が可能です。

【内容】 演奏家による演奏、楽器・楽曲の話、質問コーナーなど。

【その他】 子どもたちに司会進行やコンサートスタッフとして、演奏家をエスコートする係などのお手伝いをお願いしています。また、子どもたちの集中力を高めるため、保護者の皆様の参加はお断りしております。



体育館でのコンサート



クラス訪問（低学年）

実施例 2：特別支援学校における訪問プログラム

- 【時間】 約 45 分～60 分。相談の上、20～30 分に調整することも可能。
- 【対象】 学年/年齢は問いません。演奏鑑賞の他、楽器体験なども行うため、1 回のコンサートに参加する児童・生徒・付き添いの教職員は **100 名以内**としています。
移動が困難な方は、クラス訪問・病室訪問(各 5～20 分)が可能です。
- 【内容】 演奏家による演奏、楽器・楽曲の話、質問コーナーなど。



特別支援学校でのコンサート



楽器体験

実施例 3：病院における訪問プログラム

- 【時間】 約 20 分～60 分。年齢などに合わせ要相談。
- 【対象】 1 回のコンサートの参加者・付き添いの教職員は **100 名以内**としています。
移動が困難な方や乳幼児を対象に、病室訪問(各 5～20 分)や児童病棟のプレイルームなどでのミニコンサート等が可能です。
- 【内容】 演奏家による演奏、楽器・楽曲の話、質問コーナーなど。



病院内でのコンサート



病室訪問

2. 準備について

(1) 開催団体にご準備いただくもの

以下は一例です。訪問するアーティストにより異なりますので、開催決定後に別途お知らせします。

活動する場所・部屋		
会場	1	体育館や音楽室、図書室、デイルーム等、参加者数に合わせた場所をご用意ください。ただし、 <u>外部の公共ホール等は使用しません。</u>
控室	1～2	楽器の調整やウォーミングアップ、荷物置き場、着替えなどに使用します。音出しが可能な部屋をご用意ください。（会場と同じ階で鍵のかかる部屋を使わせていただけると助かります。）
会場内		
演奏用椅子	1～4	4本脚で肘掛けがなく、パイプ椅子でないもの。 高さ調節が可能な椅子（ピアノ椅子など）を1脚をご用意ください。 （できれば4脚ともピアノ椅子をご用意いただけると有難いです。）
譜面台	1～2 (あれば)	6月はアーティストが持参します。秋はオーボエ、バンドネオン、ギターの訪問時に利用します。（箏、雅楽では使用しません。）
ワイヤレスマイク	2～3	手元にスイッチのあるものをご用意ください。（また、演奏中にマイクが転がらないように、マイクを入れる小箱をご用意ください。）
長机	1～2	秋の訪問で体験用楽器や資料、プロジェクターなどを置きます。
ピアノ*	1	使用する場合はご相談します。（オーボエ訪問時に利用します。）
プロジェクター、 スクリーン*	各1	スライドで写真や資料などをご覧いただきながら、お話を進める場合もあります。使用の際はご相談します。（バンドネオン訪問時に利用します。）
控室		
机、椅子	適宜	アーティスト人数分プラス2脚ほど。
※ミュージック・シェアリングは環境にやさしい法人運営を目指しています。 控室にはペットボトル・紙コップなど使い捨ての物のご用意はお控え下さいますようお願い致します。		
その他		
駐車スペース	1～2台分	楽器運搬のために車を使用する場合があります。

*ピアノを使用する場合、調律についてご相談させていただくことがあります。また、ピアノ、プロジェクター、スクリーンのいずれも必要がない場合もあります。

(2) 費用負担について

アーティスト及び同行スタッフの移動・宿泊費、謝金はミュージック・シェアリングが負担いたします。ただし、設備にかかわる下記の費用は、ご負担をお願いいたします。

例) プロジェクター・スクリーンのレンタル費用、（使用する場合のみ）

ピアノ調律師手配とそれに係る費用（ピアノを使用する場合のみ）

(3) ミュージック・シェアリングだより

訪問の1～2週間前に、「ミュージック・シェアリングだより」をPDFでお送りします。楽器紹介や雑学コラムがイラスト付きで載っている資料ですので、コンサートの事前学習用や、施設内掲示物としてご利用ください。

3. その他

(1) 終了後の提出物

訪問コンサート終了後、子どもたちの感想文や、当日撮影した写真などをご提供ください。当法人ホームページの「キッズ広場」、「ICEP ブログ」、「活動ブログ」、報告書など当法人印刷物への掲載、また新聞・雑誌といったマスコミなど外部へ資料として提供する場合があります。あらかじめご了承ください、公表不可のものがあれば事前にお知らせください（部分的にぼかすことも可能です）。



子どもたちからの感想文掲載サイト「キッズ広場」
<http://musicsharing.cocolog-nifty.com/kids/>



6月の活動の様子を伝える「ICEP ブログ」
<https://musicsharingweb.wordpress.com/>

(2) 一般公開について

当プログラムは一般に公開いたしません。

(3) 写真撮影、録音・録画について

当方スタッフが記録用に写真撮影、録音・録画をすることがあります。

開催団体の方による写真撮影は可能ですが、録音・録画は固くお断りしております。

なお、広報活動のため、マスコミの取材が入る場合があります。出席者にもアンケートを行う可能性がありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。取材不可の場合は必ず事前にご連絡ください。

(4) 訪問の中止・延期について

不可抗力（天災地変、交通機関の事故及びストライキ、疫病、出演者の疾病等）または、開催団体、出演者、ミュージック・シェアリングのやむを得ない理由により、訪問を中止・延期せざるをえなくなった場合は、ミュージック・シェアリングと開催団体の双方が話し合い解決します。

(5) 開催団体ホームページや SNS 等への記事掲載について

ホームページや Facebook 等 SNS、院内新聞や校内新聞などにミュージック・シェアリングについての記事を掲載する場合は、発行前に必ず当法人の承認を得てください。

訪問プログラム 2019 応募申請方法

1. 応募の手続

公式ホームページ (<http://www.musicsharing.jp>) より所定の応募申込用紙をダウンロードし、記入欄にもれなくご入力の上、メール (info@musicsharing.jp 宛) にてご応募ください。

また、原則として、前年度実施した団体への再訪問はいたしません。

なお、お送りいただいたデータはプログラム終了後に当法人が責任をもって破棄いたします。

応募手続きについてご不明な点がございましたら、ご質問は随時、電話やメールで受け付けております。

【問い合わせ先】

認定 NPO 法人ミュージック・シェアリング事務局

訪問プログラム 2019 開催団体募集係

TEL : 03-3261-1855 (受付時間 : 月～金曜日 10:00～18:00)

FAX : 03-3261-1856

Mail : info@musicsharing.jp

担当者 : 中村、牧野

2. 応募締切

2019年1月15日(火) 必着

3. 訪問先決定について

訪問先決定は、**2019年2月上旬**を予定。

審査期間中、不明点などを問い合わせることがございますのでご協力ください。

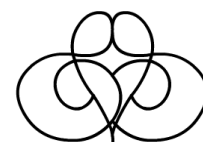
応募多数の場合やスケジュールの調整が困難などの理由から、お申込みいただいても不採択になる可能性をあらかじめご了承ください。

4. 訪問決定後に提出していただく資料

訪問決定後、当法人が指定する期日までに下記の資料をご提出ください。

- ・年間行事予定表 (2019年度のもの)
- ・授業・休み時間などがわかる時間割表
- ・最寄駅から所在地までの詳しい地図 (最寄駅の出口、道順、所要時間などが分かるもの)
- ・校内/教室/院内配置図
- ・その他補足資料 (学校概要、団体パンフレット、文化行事案内など各種資料)

【申込書記入例】



MUSIC SHARING

訪問プログラム 2019 開催応募申込書

申請日： 年 月 日

ふりがな 団体名					
責任者 役職・ふりがな 氏名			担当者 部署名・ふりがな 氏名		
所在地	〒				
	相談等はメールでのやり取りが中心になりますので必ずご記入ください。				
	TEL :	FAX :			
	E-mail :				
会場（候補） となる場所	体育館 ・ 音楽室 ・ 多目的室	会場収容人数	500		人
合同開催団体名 *合同開催を 希望する場合	その他（ ）	訪問コンサート	小4	30	人
		対象学年（高学 年）人数	小5	30	人
			小6	30	人
		*合同開催団体があ る場合は合計数			人
			合計	90	人
ピアノ ※必要のない場合も あります	※下記いずれかに○をお願いします。 無 ・ グランドピアノ有 ・ アップライトピアノ有 (機種名 例：KAWAI、YAMAHA 等)				
アクセス	①東京駅または羽田空港～最寄駅までの経路と所要時間				
	②最寄駅～学校までの経路と所要時間（公共交通機関を使った場合） 最寄駅からバス等での所要時間				
過去の参加実績	※下記いずれかに○をお願いします。 過去にミュージック・シェアリングの活動への参加があれば、実績をご記入ください。 有（ ）年 ・ 無 ・ 不明				
申請理由・目的、 施設の特徴、 アピールポイントなど	申請理由や開催希望団体の特徴・特色、アピールポイントをご記入ください。 (ボランティア活動を推奨している、等) 病院の場合は「小児病棟の有無」や「重症心身障がい児・者受け入れの有無」、特別 支援学校の場合は生徒さんの様子なども記載があると助かります。				
何でこの活動を 知ったか	※下記いずれかに○をお願いします。 当法人 HP ・ 当法人メールマガジン ・ 友人知人からの紹介 ・ その他（ 例：五嶋みどり Facebook を見て、等 ）				

申込書締切：2019年1月15日（火）必着

